

1. 会社概要（基本情報）

会社名	日本橋バリューパートナーズ株式会社	
所在地	住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-3-5
	電話	03-6661-7191
	H P アドレス	https://nvpvalue.com/
代表者	高柳健太郎	
金融商品取引業登録番号	関東財務局長（金商）第3344号	
登録年月日	2022年9月5日	
協会会員番号	012-03010	
業務開始年月	2022年10月	
資本金	1.06 億円（資本準備金を含む）	
受付窓口	03-6661-7191	
電話	03-6661-7191	
E-mail アドレス	ktakayanagi@nvpvalue.com	

2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

・一貫した投資哲学への長期コミットメントを

可能にする独立ブティック経営

日本では独立系運用会社が少ない

・日本株運用において長期実績を持つ2人の

ポートフォリオマネージャーが合流

それぞれ29年と23年の日本株専門家としての長期実績

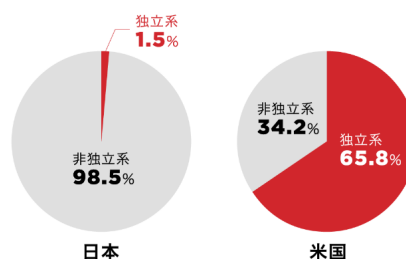
・収益力と株主還元を向上させてきた日本企業

への投資機会を捉える配当力バリュー投資*

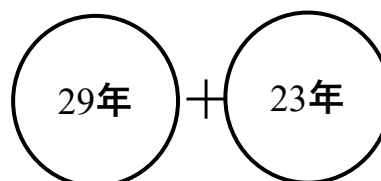
*配当力バリュー投資：

企業の配当力（稼ぐ力×株主還元姿勢）を評価した上で価値と株価を比較するバリュー投資手法。インカムゲインとキャピタルゲインを高い水準で両立させることを狙います。

<独立系運用会社の日米比較：運用資産額シェア>



（出所）投資信託協会、AMG社の資料を元に作成。日本は2022年6月末、米国は2019年末



運用方針

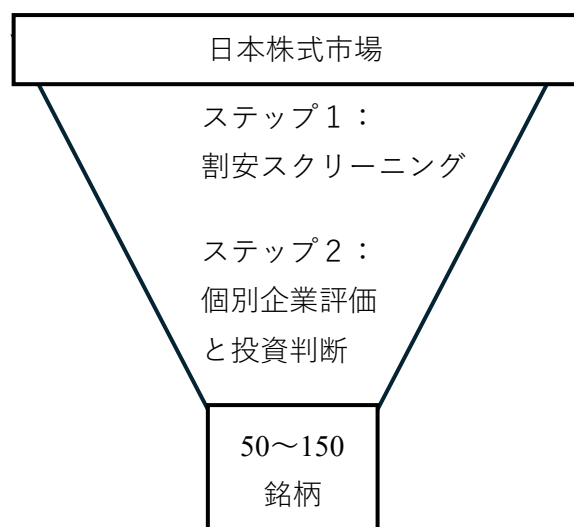
日本株バリュー投資。“企業の稼ぐ力”と“株主還元姿勢”を分析することをベースとした個別銘柄選択が付加価値の源泉。

投資哲学

（１）市場参加者に過小評価されている銘柄の中から、（２）本当の実力を持つ企業を発掘することが、長期的な投資財産の積み上げにつながる。したがって企業の割安評価と実力評価を組み合わせた投資アプローチによって、魅力的な投資機会を捉えることができると考えています。この投資哲学による運用は20年間以上にわたり複数のマーケットサイクルを乗り越えてきました。

3. 投資に関する意思決定プロセス

配当力バリュー投資：企業の配当力（稼ぐ力×株主還元姿勢）を評価し、価値と株価を比較するバリュー投資を実践します。



ステップ1：

割安スクリーニングによる銘柄の絞り込み

- ・ 株価純資産倍率（PBR）
- ・ 益利回り（PERの逆数）
- ・ M & A レシオ
- ・ 配当利回り/等

ステップ2：

個別企業毎の配当力／株価水準評価による投資判断

企業の配当力=稼ぐ力×株主還元姿勢

投資判断=配当力と株価水準を比較した総合評価

4. 運用体制

日本株運用において長期実績を持つ2人のポートフォリオマネージャーが合流

CIO／ポートフォリオ・マネージャー

高柳健太郎

役割：投資戦略立案、リサーチ、渉外活動

キャリア：

- ・ 経験年数：29年
- ・ 経験内容：日本株バリュー投資のポートフォリオマネージャー

・ 職歴・受賞歴・メディア等：

野村アセットマネジメントにおいて20年以上日本株バリューファンドの運用を担当。欧州、中東、日本などで投資コンサルタントからの推奨を受け、国内外の機関投資家向けに顧客層が拡大しピーク時で9000億円を超える旗艦ファンドとなる。「バリュー投資の再考ー完全予見による評価」（共著）をSAAJに掲載。2021年11月に日本橋バリューパートナーズの代表取締役社長に就任。CMA

リード・ポートフォリオ・マネージャー

矢内伸介

役割：ポートフォリオウエイトの決定、リサーチ

キャリア：

- ・ 経験年数：23年
- ・ 経験内容：日本株アナリスト／日本株ポートフォリオマネージャー

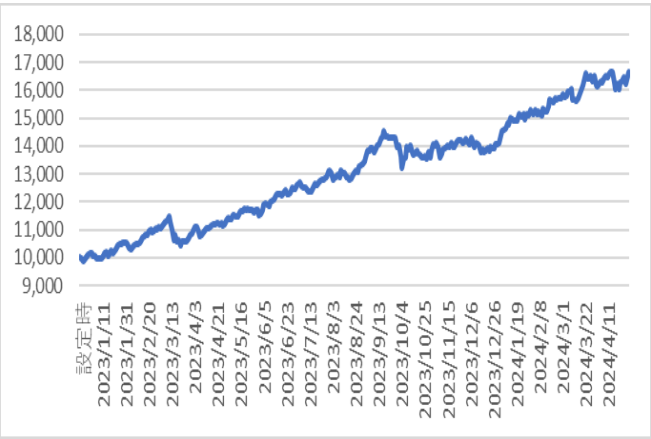
・ 職歴・受賞歴・メディア等：

野村アセットマネジメント、山一証券経済研究所などで20年以上の日本株個別企業調査および運用の経験。アナリストとしては、保険・その他金融、化学などを担当。ファンド運用では、ファンドコンサルタントからの推奨を受け、国内外の機関投資家の顧客層が拡大。ピーク時で3000億円を超える主力ファンドに成長。2022年8月、日本橋バリューパートナーズに入社。CMA

5. 運用金額

361億円（2024年4月末現在）

6. 運用実績



基準価額 16,639

純資産総額 153.1億円

（日本株配当力バリューマザーファンド）

騰落率

1 か月	+0.7%
年初来	+17.9%
設定来	+66.4%

2024年4月末現在

注：ここでの運用実績は、顧客手数料控除前の運用パフォーマンス（マザーファンド運用）であり、実際の運用では顧客ごとに手数料（固定報酬または固定報酬と実績報酬）がかかります。



私たちは日本橋バリューパートナーズ。ぶれない基点は顧客と寄り添う資産運用。
独自のバリュー投資で世界へ未来へと大きな橋を架けます。



日本橋バリューパートナーズの特徴

- ・一貫した投資哲学への長期コミットメントを可能にする独立ブティック経営
- ・日本株運用において長期実績を持つ2人のポートフォリオマネージャーが合流
- ・収益力と株主還元を向上させてきた日本企業への投資機会を捉える配当力バリュー投資

創業の想い

2021年秋、独立して日本橋バリューパートナーズ株式会社（NVP）を設立しました。30年間かけて培った日本株運用のノウハウ、ビジネスへの想いを全て投入します。

社名には、歴史的にも五街道の起点として日本の中心である日本橋の地にアセットオーナーとの架け橋となり、アセットオーナーにとって価値のあるパートナーとなるバリュー投資の会社を作り上げるという想いを込めています。

NVPは、価値あるパートナーとしてアセットオーナー（お客様）と常に同じ方向を向いている資産運用のプロフェッショナル集団を目指します。金融先進国である北米に比べて、日本の資産運用は数十年遅れていると言われています。日本の現状とは異なり、北米ではブティック運用会社がそれぞれの専門性に特化したプロフェッショナル集団として、アセットオーナーに寄り添う長期的パートナーとして高い存在感を示しています。

ブティック運用会社の強みは、高い専門性と一貫した運用、顧客との長期パートナーシップによって長期資産形成のみに集中できることです。

NVPは、真の長期パートナーとしてお客様に寄り添うブティック運用会社であり、それぞれのメンバーが高い専門性を持っています。お客様と信頼関係を築きながら、得意とするバリュー（逆張り）の切り口による銘柄選択によって大きな投資成果を目指します。

代表取締役社長 高柳健太郎